

花葉会総会

平成27年度一般社団法人花葉会の総会が、平成28年10月16日（日）14：30より、柏市柏の葉にある千葉大学環境健康フィールド科学センター シーズホールにて、開催されました。

当日は、総会に先立ち、希望者のみでしたが12：30にシーズホール前に集合し、センター内の施設見学を行いました。植物工場は古在豊樹名誉教授に、苗生産施設と菓草園は渡辺均准教授にご案内いただきました。



植物工場見学



花卉苗生産部見学



菓草園見学

総会は、久保田芳久幹部会員の司会進行で、定刻どおり開始されました。

三吉一光会長は公務のため欠席で、代わりに國分尚副会長の開会挨拶と千葉大学・園芸学部の近況報告がありました。

「今年から主に日本から海外へ行き国際的に活躍できる人材育成する目的で“国際教養学部”という新学部が設立されました。園芸学部からも数名、新学部へ転出していますが、園芸学部との兼務ということで、園芸学部でも授業を持っています。法経学部が、“法政経学部”に呼称を変更しました。

園芸学部では、今年2月に沖津進研究科長が急逝され、小林達明教授が就任し、そのもとで事業がすすめられています。

花葉会では、事務局が松戸にありましたが、4月から柏に移動しより一層事業の活性化が図れることと思います。総会の議事・懇親会ともどもよろしくお祈いします」としめくりました。



開会の挨拶をする國分尚副会長

総会前の幹部会で推薦された長岡求理事長が議長に拍手をもって承認され、議事に入りました。長岡理事より「花葉会の総会に当たり、議長を務めさせていただく」

と挨拶があり、定数の確認を行いました。

事務局長 渡辺均理事より、「幹部会員30名のうち20名出席、委任状提出6名で定数に達している」ことを報告され、議案に入りました。

(1)平成27年度事業報告

(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

- ①平成27年10月18日 総会
- ②平成27年12月10日「花葉」第34号発行
- ③平成28年7月1日 2016年花葉会見学会&交流会（（有）林園芸、（有）さかもと園芸、松原園芸、カネコ種苗（株）波志江研究所）
- ④平成28年7月11日～19日 東チベットへの海外園芸事情調査
- ⑤花産業必修1000属検定（計10回実施 C級3名合格）
- ⑥運営幹部会開催は、平成27年10月18日、12月20日、平成28年1月31日、4月2日、6月11日、9月3日の6回。

(2)平成27年度会計報告

①一般会計報告

収入の部

(平成28年8月31日現在)

前年度繰越金	▲684,589
基金より繰入	684,589
前年度 千葉銀行残高+現金残高繰入	1,647,079
会報広告料 (34号)	885,000
寄付金	736,528
総会余剰金	0

醸金（渡辺重吉郎先生より）	
	30,000
1000属検定料	3,000
花葉前払い金戻し入れ	478,824
見学会&交流会余剰金	219,930
雑収入	208
預金利息	106
合 計	4,000,675円

支出の部

印刷費	0
会報関係	875,170
通信費	83,108
運送費	656
総会費（記念品代等）	72,689
会議費	106,978
事務費	194,712
賃金	740,310
慶弔費	100,000
税金	69,800
日本花普及センター賛助金	100,432
前払い(花葉)	6,340
前払い(総会)	30,000
合 計	2,380,195円
差引残高	1,620,480円

②2016花葉会见学会&交流会会計報告

参加者数 見学会76名、交流会54名	
収入	851,000円
(内訳)	
見学会	
8,000円 × 76人	608,000
交流会	
4,500円 × 54人	243,000
合 計	851,000円

支出	631,070円
(内訳)	
会場費	220,432
印刷費	3,548
講師謝礼	38,100
参加者昼食代	63,910
通信費	69,301

運送費	800
参加者現地旅費	226,552
事務費	8,427
合 計	631,070円
差引残高	219,930円
*平成27年度一般会計へ余剰金として繰入	

③基金報告

(平成28年8月31日現在)	
合計金額	8,188,163
(内訳)	
前年度残高	8,187,411
利息	752
合 計	8,188,163円

(3)平成27年度法人財務報告及び監査報告

田中桃三監事より法人としての決算報告書の詳細な説明がされました。

監査は会計ばかりでなく業務と両方をおこない、適正・正確に表示していると報告されました。

長岡理事長より、「一般社団法人の場合は、幹部運営会で承認されておりますが、慣例に従って一般会員の皆さんの意見を聞きたいと思っております」と、提案がりましたが、意見は無く、拍手をもって議事は承認されました。

(4)平成28年度事業計画(案)

(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

①運営幹部会（年6回開催予定）

②「花葉」35号発行

③花卉園芸必修1000属検定

④2017年花葉会サマーセミナー・

見学会&交流会開催

平成29年6月30日(金)～

7月1日(土)予定

⑤海外園芸事情調査

⑥総会、花葉会賞の贈呈

(5)平成28年度一般会計予算(案)

収入の部

前年度繰越金	1,620,480
会報広告料(35号)	820,000
寄付金収入	100,000
基金より繰入	0
合 計	2,540,480円

支出の部

印刷費	60,000
会報関係	820,000
通信費	100,000
運送費	10,000
総会費(記念品代等)	200,000
会議費	200,000
事務費	80,000
賃金	500,000
慶弔費	100,000
税金	70,000
予備費	400,480
合 計	2,540,480円

(4)(5)の議題は、拍手をもって承認されました。理事長より、赤字を作らないように事業を進めて行きたいと、表明がありました。

(6)役員の一部改選について

齋藤俊一氏が都合により幹部を退任し、高橋耕一氏が就任することが運営幹部会で承認されたとの報告がされました。

高橋耕一氏から「平成12年卒業、39歳。会の運営に邁進して行きたいと思っております。ご指導ご鞭撻を願います」と、挨拶がありました。

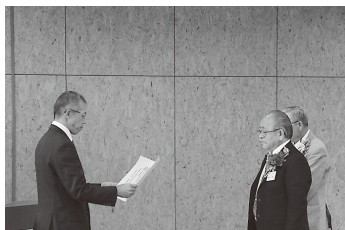


高橋耕一氏による新幹部挨拶

その他の意見もなく、「皆様のご協力のもと滞りなく総会の催い議事が進行し、無事終了することができ、今後ともどうぞよろしくお願いします。ありがとうございます」と、議長より挨拶があり議事が終了しました。

花葉会賞贈呈

総会に引き続き、花葉会賞の贈呈がありました。長岡理事長より、初山秀之氏（昭和43年園芸科卒）と望田明利氏（昭和45年園芸科卒）の2名が紹介されました。國分副会長より賞状と記念品が授与されました。



花葉会賞を受ける初山秀之氏



花葉会賞を受ける望田明利氏

受賞者を代表して初山氏より「栄誉ある賞を頂きありがとうございます。第一園芸（株）に2年前まで勤めていただけですが、ありがたく頂戴します。

改めて行ってきた仕事を思い出しながら振り返りました。小杉清教授に第一園芸を勧められ、語学が不得手で旅行もしたことがない状態で入社しました。ところが、仕事の大半は海外でした。1972～1974年にオランダ・イギリス・アメリカをまわり研修をし、普通で

はできない経験ができました。

第一園芸で農場長を行っていた時にペチュニアの‘ブリエッタ’を開発しました。当時はカーネーションなど切り花や鉢物ではプリムラなどが主体でしたので、なかなか商品化ができませんでした。花葉会の幹事を行っている時で岩手の橋本昌幸先生に教えを乞い、橋本先生の一言で販売が決まり、最終的には400万本売り上げることができました。

千葉大の花卉研究室を出たこと、小杉先生に第一園芸を勧められたこと、花葉会の幹事になったこと、諸先輩の引立てがあつことが、花の業界で頑張ってきたのだと思います」の挨拶がありました。



受賞の挨拶をされる初山秀之氏

花卉産業必修1000属検定試験

今年度は、合格者がC級のみだったので、総会での認定書授与は省略。

受賞記念講演

望田明利氏により「虫とともに50年」のタイトルで受賞記念講演が行われました。



受賞記念講演の様子

懇親会

午後4時30分より、柏の葉キャンパス駅近接のビル内のカフェレストラン・アゴーラにて野本寿久・高橋耕一の両幹部会員の司会進行により、懇親会が始まりました。

開会の挨拶を鈴木司幹部会員が「10数年ぶりにセンターを訪れました。21世紀の先端をゆく設備に驚き、良い刺激を得られました。

最近情報はネットでやり取りして、対面で情報交換できる機会は少なくなっています。このような機会を有効に活用し、先輩・後輩との交流を時間いっぱい行ってください」と、行いました。

乾杯の発声を吉池貞蔵氏が「昭和30年卒業です。岩手県でバラの実生に挑戦しています。素晴らしいセンターの農場を見させていただき感激しました。花葉会の発展を祈念します」と、行いました。

会場のあちこちで、旧交を温めたり、先輩後輩の交流を図ったりと和やかに進行し、盛会のうちに終了しました。

（文責：編集部）



懇親会開会



懇親会風景